

大阪湾・瀬戸内エリアにおける Ship to Ship 方式による船舶向け LNG 燃料供給の事業化決定

2023年6月27日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）は、大阪湾・瀬戸内エリアにおいて Ship to Ship 方式*¹による船舶向け LNG 燃料供給事業（以下「LNG バンカリング事業」）の事業化を決定しました。本件は、当社では初めての Ship to Ship 方式による LNG バンカリング事業であり、LNG 燃料供給船（以下「バンカリング船」）（LNG 積載量：約 1,500 トン）が就航予定の 2026 年度の事業開始を目指します。

本事業は、当社の製造所からバンカリング船に LNG を積み込み、LNG を主燃料とした船舶（以下「LNG 燃料船」）の停泊地まで輸送し、バンカリング船から LNG 燃料船に LNG を供給するものであり、当社が LNG の供給・販売を行います。

今般、当社 100%子会社の大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社（以下「OGIT」）、NS ユナイテッドタンカー株式会社（以下「NSUT」）、阪神国際港湾株式会社（以下「HPC」）の3社は、国土交通省の令和5年度 LNG バンカリング拠点形成事業（以下「本補助事業」）に採択されました。

今後、3社の共同出資により設立した大阪湾 LNG シッピング株式会社（以下「OLS」）が補助金交付申請を行い、交付決定後、本補助事業のもとでバンカリング船の建造を行います。

バンカリング船は OLS が保有し、LNG 内航船運航の豊富な実績を持つ NSUT が船舶管理・運航管理を行う予定です。また、阪神港の港湾運営会社である HPC は、国・港湾管理者・港湾関係者などと連携し、船舶誘致、船舶用 LNG 燃料の普及促進を行う予定です。

従来、船舶燃料には主に重油が使用されてきましたが、世界的な脱炭素化の流れを受け、国際海事機関は、2050年までに温室効果ガス排出量を2008年対比で50%削減する目標を設定しました。今後、船舶燃料の低炭素化に向け、LNG 燃料船の竣工が多く見込まれています。

将来的には LNG を当社が実現を目指す e-methane*²に置き換えることで、船舶燃料の脱炭素化に繋げていくことが可能となります。

Daigas グループは、今後も船舶向けへの LNG 燃料供給を拡大するとともに、e-methane の社会実装と船舶燃料向けへの供給を推進することで、海運業界の低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

* 1：岸壁に係留中もしくは錨地に停泊中の LNG 燃料船に対して、バンカリング船が接舷して LNG を供給する方式。

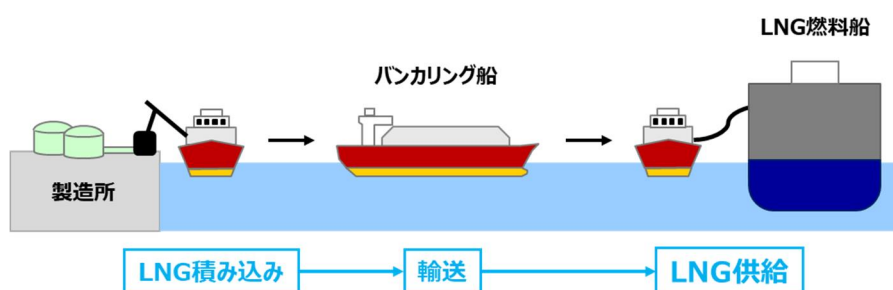
ほかに、岸壁に係留中の LNG 燃料船に対して、岸壁に駐車した LNG タンクローリーから LNG を供給する Truck to Ship 方式、岸壁・棧橋に係留中の LNG 燃料船に対して、陸上 LNG ターミナルなどから LNG を供給する Shore to Ship 方式がある。

* 2：グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料としてメタネーションによって製造された合成メタンに対して用いる呼称。

1. 本事業のスキーム



2. Ship to Ship 方式による LNG バンカリング事業のイメージ



3. 会社概要

■大阪ガス

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
設立	1897年4月10日
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆

■OLS

会社名	大阪湾 LNG シッピング株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
設立	2023年6月14日
代表者	代表取締役社長 藤田 武則
出資者	大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社、NSユナイテッドタンカー株式会社、阪神国際港湾株式会社

■OGIT

会社名	大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
設立	1990年4月2日
代表者	代表取締役社長 藤田 武則

以上